



# バックエンド部会

お知らせ



# バックエンド部会からのお知らせ

## •バックエンド部会からのお知らせ

- ① 夏期セミナー予定
- ② 部会誌継続に向けたお願い
- ③ 海外発表助成制度
- ④ 研究会支援制度
- ⑤ 令和2年度運営委員改選選挙結果

## •新部会長挨拶

# 【第36回バックエンド夏期セミナー予定】



## 以下で開催を検討中

○開催日：令和2年8月26日（水）～28日（金）

○開催場所：愛媛県松山市

○内容：

- ・放射性廃棄物処分の信頼性の向上と実現に向けた取り組みとして、性能設計の考え方に基づく地層処分のセーフティケースの構築や低レベル放射性廃棄物の廃棄物埋設施設を対象とした新規規制基準適合性に係る審査等が進められている。このような新たな取り組みについて講演やグループディスカッションを通して理解を深め、今後のバックエンド分野で必要な研究・技術開発の進め方に役立つものとする。

今後プログラムの詳細を検討

○見学会：8月28日（金） 明神山トンネル建設現場（伊予市）

# 【部会誌継続に向けたお願い】



部会員のための部会誌継続のために、ご協力をお願いします

- ・ 積極的な投稿/寄稿（情報発信の場としての活用）
- ・ 査読へのご協力
- ・ 特集テーマのご提案
- ・ 国際会議や学会などへの会議参加記

論文の投稿または部会誌へのご意見/ご要望等は下記メールへ  
[journal@nuce.aesj.or.jp](mailto:journal@nuce.aesj.or.jp)

どうぞよろしくお願い申し上げます！



## 【海外発表助成制度】

- 若手研究者の海外発表に関する渡航滞在費を助成
- 半期あたり原則1名を対象に13.5万円を限度に助成
- 詳しくは部会ホームページに掲載の募集要領を参照

- 2019年度実績
  - 上期分(2月10日締切): 応募なし
  - 下期分(8月10日締切): 応募なし
- 2020年度実績
  - 上期分(2月10日締切): 応募なし



☆「2019年秋の大会」バックエンド部会第51回全体会議における周知・案内(2019/09/11)

☆部会メーリングリストによる本制度の周知・案内(2019/10/02, 2019/12/02, 2020/01/23)

## 【研究会支援制度】

- 部会員から研究テーマを公募して研究会を設置
- 研究会の費用を年間13.5万円までを目安に支給
- 会期は最長3年とし、適宜成果を取りまとめて発表
- 詳しくは部会ホームページに掲載の募集要領を参照

- 2019年度実績  
– 応募なし



☆「2019年秋の大会」バックエンド部会第51回全体会議における周知・案内(2019/09/11)

# 【2020年度運営委員改選選挙結果】



## 令和2年度運営委員改選選挙結果（敬称略）

役職	氏名	所属	信任	不信任
部会長	杉山 大輔	電力中央研究所	312	0
副部会長	佐々木 隆之	京都大学	311	1
運営委員	今井 政孝	ダイヤコンサルタント	307	5
//	岡部 寛史	東芝エネルギーシステムズ	305	7
//	草野 由貴子	原子力発電環境整備機構	307	5
//	榊原 哲朗	原子力機構	308	4
//	湊 大輔	電力中央研究所	308	4
//	本島 貴之	大成建設	307	5
//	丹生屋 純夫	大林組	306	6

部会員総数：590(2020/01/28時点) 有効投票数：312(有効投票率：52.9%) 7

# 新部会長挨拶



2020年度の部会長を拝命しました電力中央研究所の杉山大輔です。歴代の部会長に比べて非力で頼りないことはご容赦いただき、ご指導とご協力のほどよろしくお願いいたします。

バックエンド分野は、規制基準の改訂整備や低レベル放射性廃棄物の埋設事業、地層処分の技術レポート公表などが着実に進んでおりますが、改めて学術的に眺めますと、多くの研究課題があります。バックエンドの重要性、必要性を社会の多くの方々と共有していくためには、廃棄物の処理処分の安全について、真摯な追及を継続しなくてはなりません。各技術・学術を不断に追及するとともに、様々な知識や技術、経験の連携を、大きな視点を持って深めていくことが大切です。

既に活動を進めていますが、今期は、定例行事はもちろん、他部会や他学会との交流連携にも力を入れていきます。改めて腰を据えて、幅広く、多角的な議論を交わせる場として、部会員の皆様に活用いただく魅力ある部会としていきたいと考えています。研究発表や行事への参加はもちろん、部会誌への投稿、企画セッションのご提案、研究会支援・海外発表助成制度の利用もお願いいたします。元気出してまいりましょう。







Fin.